

2019 働き方改革関連セミナー

経営者、役員、管理職、人事・総務ご担当者の皆様へ

現在労働力人口が急激に減少しており、ある推計によれば生産年齢人口は2013年の8000万人から2060年には4400万人にほぼ半減します。

今後、非正規雇用の処遇改善、賃金引上げ、長時間労働の是正、テレワークなど勤務形態の多様化、女性・若者が活躍しやすい環境、子育てや介護と仕事の両立、高齢者の就業支援、外国人材の活用など様々な形態を受け入れていく必要があります。

関連する法令やガイドラインとリスクマネジメント、就業規則、管理ポイント等を解説していただきます。働きやすい職場環境への改善にはメンタルヘルスケアやアンガーマネジメントも重要な課題です。これらの概要を解説していただきます。**概要は裏面をご覧ください。**

■日 時：第1回 2019年5月23日（木） 14:30～16:30

演 題：「働き方改革」 実務対応セミナー

講 師：三井住友海上経営サポートセンター

第2回 2019年5月31日（金） 14:00～17:00

演題①：ストレスチェックの結果を活かした職場環境改善への検討：効率的な
ラインケア実施のための集団分析データの活用

講 師：佐久大学 看護学部 准教授 朴相俊氏

演題②：職場の人間関係が企業の未来を決める

～仕事の必須スキル「アンガーマネジメント」～

講 師：(株)J・キャリアコンサルティング代表取締役 山ノ内恵理氏

■会 場：信州大学繊維学部内 AREC(上田市産学官連携施設 4 階) 上田市常田 3-15-1

■対 象：経営者・管理職・人事総務担当者など

■定 員：40名程度

■受講料：AREC・F i i プラザ会員無料／非会員 10,000 円

●お申込先 AREC・F i i プラザ事務局宛

TEL/0268-21-4377 FAX/0268-21-4382 mail/mousikomi@alrecplaza.jp

働き方改革関連セミナー（2019.5.23、5.31） 受講申込書

企業名						
電話番号				FAX 番号		
参加者名						
所属・役職						
e-mail						
参加日	両日	第1回	第2回	両日	第1回	第2回

※ご記入の個人情報（社名、所属、役職、氏名、メールアドレス）は受付名簿としてのみ使用し、他の用途には一切利用致しません。

第1回 2019年5月23日(木) 14:30~16:30

講師：三井住友海上火災保険（株）経営サポートセンター
アドバイザー 富永 剛生（とみなが ごうせい）氏

演題：「働き方改革」 実務対応セミナー

概要：2017年3月、政府「働き方改革実行計画」が決定され、長時間労働の是正や、非正規労働者の処遇改善等、9つのテーマで改革の方向性が示されました。2019年度からの実現を目指し、法改正等の取組が進められています。これにより、企業によっては人事制度等の大幅な見直しが必要となります。また、人手不足が続く状況下、優秀な人材の確保・定着のためにも、「働き方改革」への取組を最重要課題とされている企業経営者の方々も多いと存じます。本セミナーでは、「働き方改革」のテーマの中でも特に緊急性の高い「同一労働同一賃金」「長時間労働の是正」「年5日の確実な有給休暇取得」に焦点をあて、実務対応のポイントについて分かりやすく解説いたします。

第2回 2019年5月31日(金)

第1講 14:00~16:00

講師 学校法人 佐久学園 佐久大学大学院看護学研究科 看護学部看護学科
准教授 朴 相 俊（ぱくさんじゅん）氏

演題：ストレスチェックの結果を活かした職場環境改善への検討：効率的なラインケア実施のための集団分析データの活用

概要：ストレスチェックの結果を活かした職場環境改善への検討（効率的なラインケア実施のための集団分析データの活用）をテーマに、職場が抱えている人間関係やストレスの問題、そして改善に向けての必要な視点について解説します。特に、今回の講座ではラインケアの構成要素である「職場環境改善」と「相談対応」を中心に職場環境改善への必要なアプローチポイントを確認し、また、コミュニケーション意味や在り方を知ることによって上司が社内で行う相談対応のポイントを整理します。最後には、2015年12月から義務化づけされたストレスチェック結果の有効活用とラインケアとの関係性をお話しします。

第2講 16:00~17:00

講師：株式会社J・キャリアコンサルティング
代表取締役 山ノ内 恵理（やまのうち えり）氏

演題：職場の人間関係が企業の未来を決める
～仕事の必須スキル「アンガーマネジメント」～

概要：アンガーマネジメントは、怒りの感情やいらだちをうまくコントロールするための簡単なテクニックです。怒りの要因を客観的に見つめて考え方を変えることにより、「怒りで後悔しない」行動がとれるようになります。今、日本の職場ではアンガーマネジメントの需要が高まっています。その理由として働き方改革に象徴される価値観の大きな転換があげられます。不要な怒りやいらだちは職場の生産性や創造性を著しく低下させ、人材の損失にも繋がります。職場のパワーハラスメント対策などにも効果が認められています。「アンガーマネジメント」の基礎をお話しします。